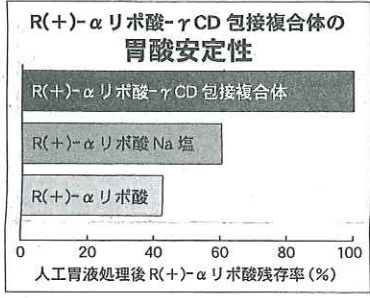


シクロケムが新素材上市

R体αリポ酸の包接化素材

シクロケムは、このほどR CDで包接して安定化させること
 体のαリポ酸をαシクロデキス トリン(CD)で包接した新素
 材を上市した。αリポ酸にはR
 体とS体の光学異性体が存在す
 るが、健康食品には双方を等量
 に含むラセミ体が使用されてい
 る。一方で、生体内にはR体の
 みが存在しており、同社の寺尾
 社長によれば「これまでの研究
 ではR体に抗糖尿病・抗糖化・
 抗老化作用などで最も高い有効
 性のあることが明らかとなった
 発表がある」という。しかし、
 R体は融点が低く、熱や酸によ
 って容易にポリマー化しやす
 いなど物性が不安定であり「r

同社が実施したR体αリポ酸
 包接体の安定性試験では、同素
 材、アメリカで使用可能な安定
 性を高めたR体αリポ酸Na
 塩、R体αリポ酸を70度の飽和
 水蒸気気圧下に2時間置いた結
 果、R体αリポ酸Na塩が残存
 率81%、R体αリポ酸が同58%
 だったのに対し、同素材は10
 0%残存。人口胃液に同3素材
 を分散させた試験の結果は、R
 体αリポ酸Na塩が残存率約
 60%、R体αリポ酸は43%が残
 存したもののゴム状物質を形成
 して体内吸収されにくい状態に
 なったのに対し同素材は形状変
 化せず、100%残存したこと
 が確認された。同社では「安定
 性の問題で利用できなかったサ
 プリメントや栄養補助食品の
 メーカーに積極的に提案してい
 きたい」と話している。



同社が実施したR体αリポ酸
 包接体の安定性試験では、同素
 材、アメリカで使用可能な安定
 性を高めたR体αリポ酸Na
 塩、R体αリポ酸を70度の飽和
 水蒸気気圧下に2時間置いた結
 果、R体αリポ酸Na塩が残存
 率81%、R体αリポ酸が同58%
 だったのに対し、同素材は10
 0%残存。人口胃液に同3素材
 を分散させた試験の結果は、R
 体αリポ酸Na塩が残存率約
 60%、R体αリポ酸は43%が残
 存したもののゴム状物質を形成
 して体内吸収されにくい状態に
 なったのに対し同素材は形状変
 化せず、100%残存したこと
 が確認された。同社では「安定
 性の問題で利用できなかったサ
 プリメントや栄養補助食品の
 メーカーに積極的に提案してい
 きたい」と話している。